<ul><li>Created</li></ul>	@October 17, 2022 9:22 PM
∷ Tags	

### 概要

Part 2では実際にデータが保存されている場所、保存方法を学習した。

Part 3では大量のデータを理解できるように、集計の基礎とその方法を学習する。 学習後、様々な観点からデータを集計しデータを理解することができるようにな る。

## 参照

・[出典:KT Channel] 「データを理解する集計の力」

https://www.youtube.com/watch?v=q11RLh3Z4yY

#DataSaberBridge

#Tableau

#Ordeal 0

#データ

#集計

### 集計について

私たちが見るデータは基本大量。

大量のデータを一気に見ても理解できない(=「データの海に溺れる」とも言う) ので、「**集計**」することでデータを理解する

集計=数字をある単位・かたまりで集めて計算する(合計、平均など)

※集計≠合計、合計は集計の手法の1種。

集計で重要なこと=集計の単位[データの粒度(<u>L</u>evel <u>of</u> <u>D</u>etail, LOD)]を考えること。

集計する際にはデータを

- どの単位で集めるのか
- どのかたまりで集計するのか

を考える必要がある。

例:集計単位を「年」とすれば、各年の売上金額の集計など

### 集計単位の例

#### 1時間

No.	単位	事例
1	億	地球の歴史
2	秒	動画

#### ②場所

No.	単位	事例
1	国	世界各国のGDP
2	経緯度	人の移動履歴

### ③人

No.	単位	事例
1	年齢/性別	人口ピラミッド
2	個人	病院の診断結果、カルテ

#### ④モノ

No.	単位	事例
1	カテゴリ	商品カテゴリごとの売上金額

- ※データの粒度×ストーリーテリング
- →最終的に伝えたい内容をもとにデータの粒度を考えて、要点をつないでいく。

(例:2021年以降に注力していく商品開発に向けて、

- 2020年1月から6月の半年間を通じてA社の製品のうちどの商品が一番売上総額 が高かったか
- 次に、どの年齢層に一番売上総額が高い商品が売れていたか
- さらに、どの地域に一番売上総額が高い商品が売れていたか

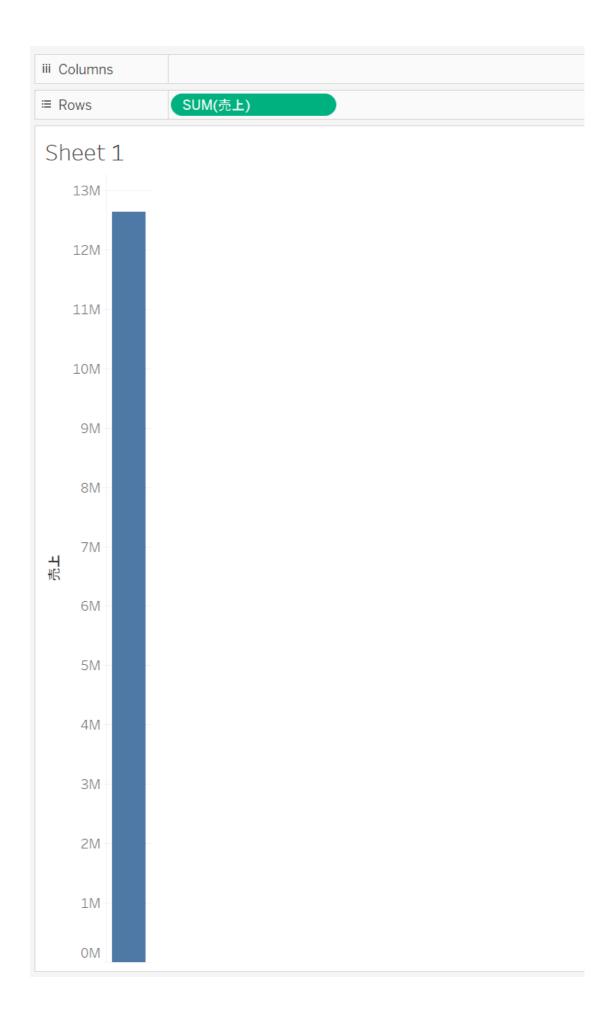
など)

## 集計における計算方法

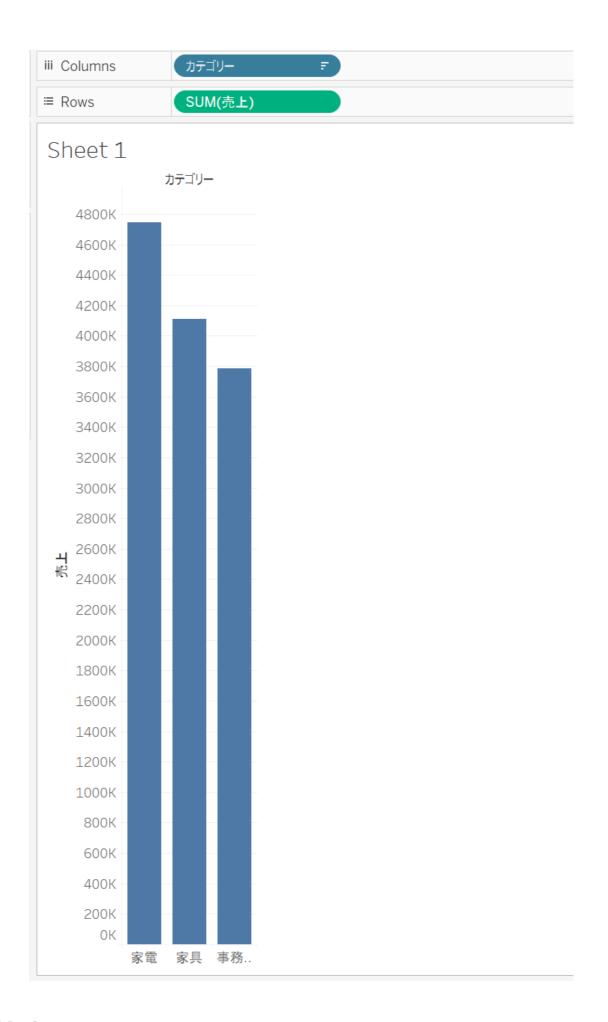
集計における基本的な計算方法→合計、平均など 自分や相手が知りたい計算方法を選ぶ。

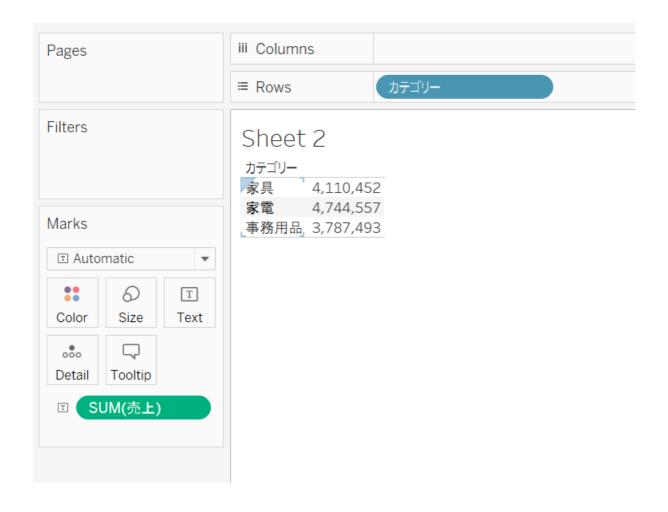
### データの粒度や計算方法により異なる集計結果

■全データの売上合計

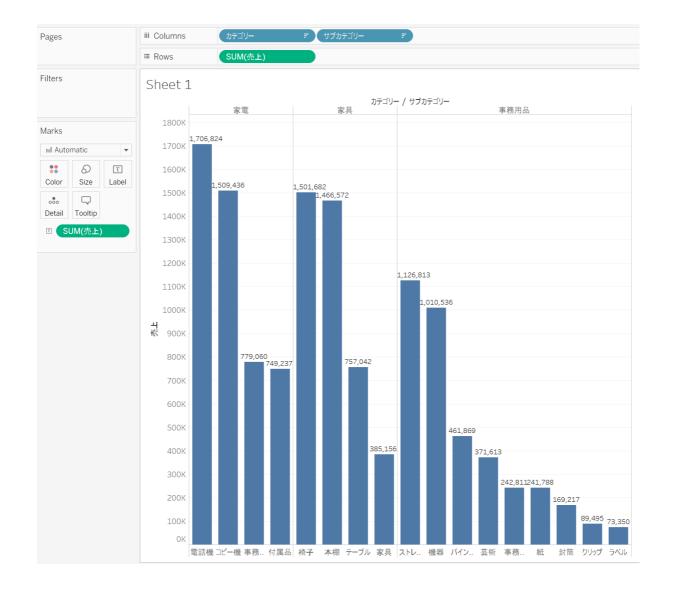


### ■各カテゴリの売上合計



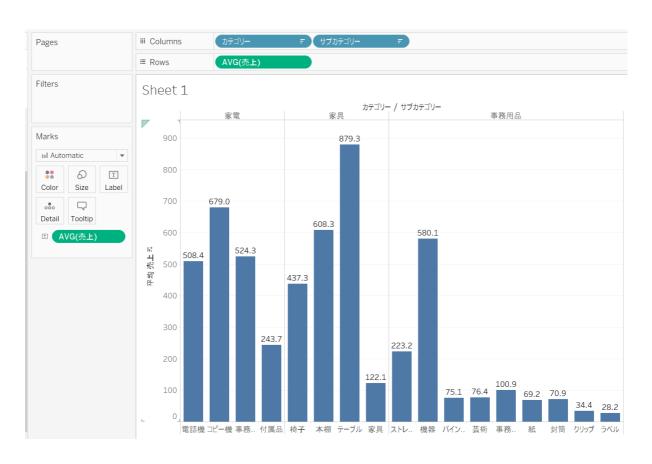


### ■サブカテゴリごとの売上合計





### ■サブカテゴリごとの売上平均

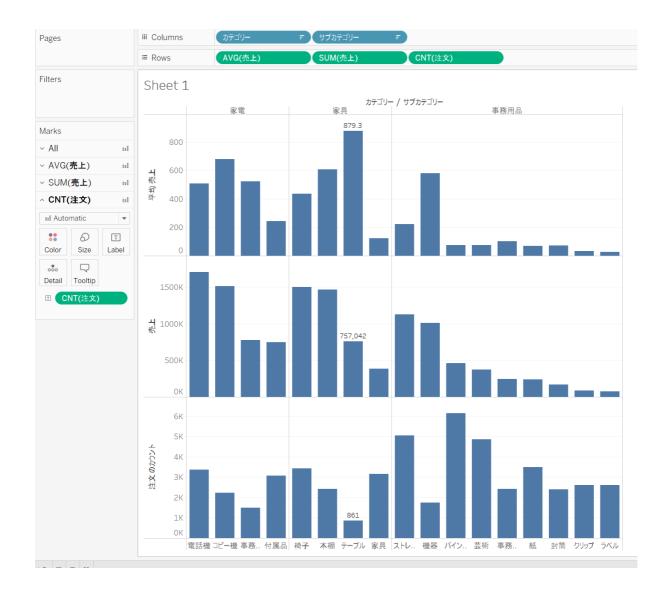


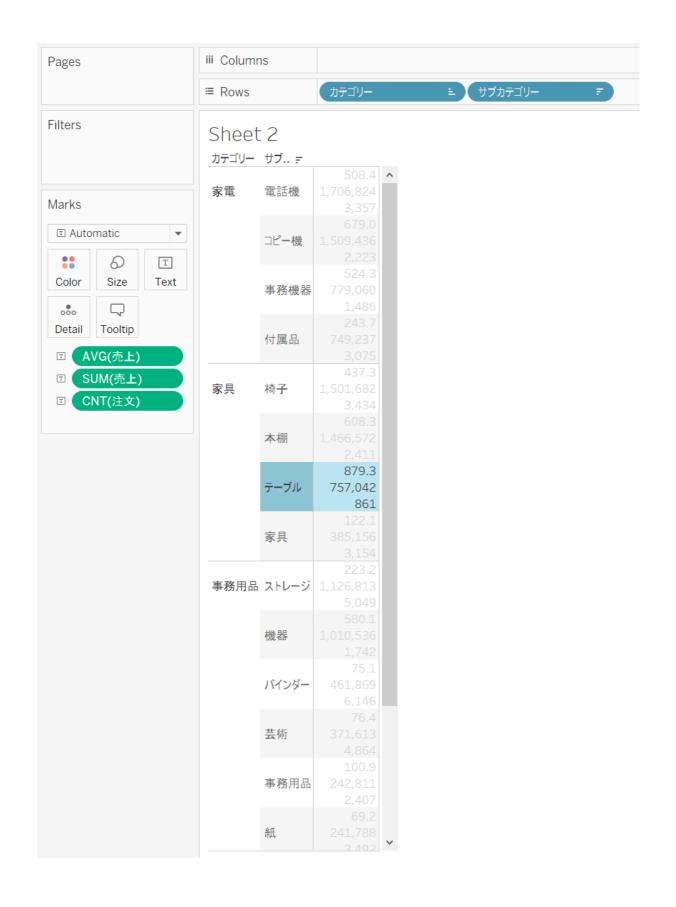


■テーブルの売上合計・平均・注文件数

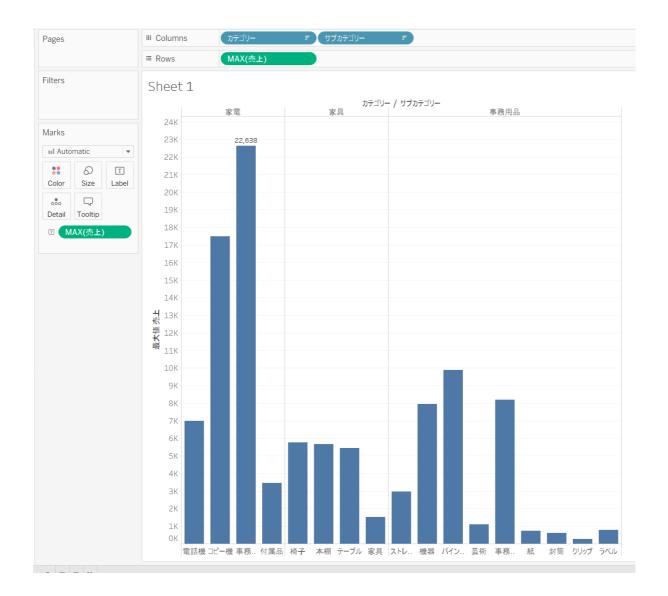
テーブルの売上合計は小さいのに売上平均が高い

→テーブルの注文件数が少ない。



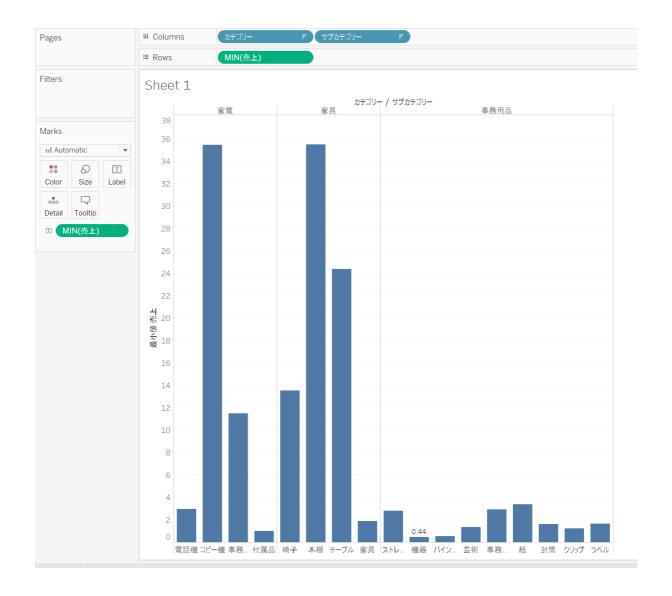


#### ■サブカテゴリ内の売上の最大値





### ■サブカテゴリ内の売上の最小値





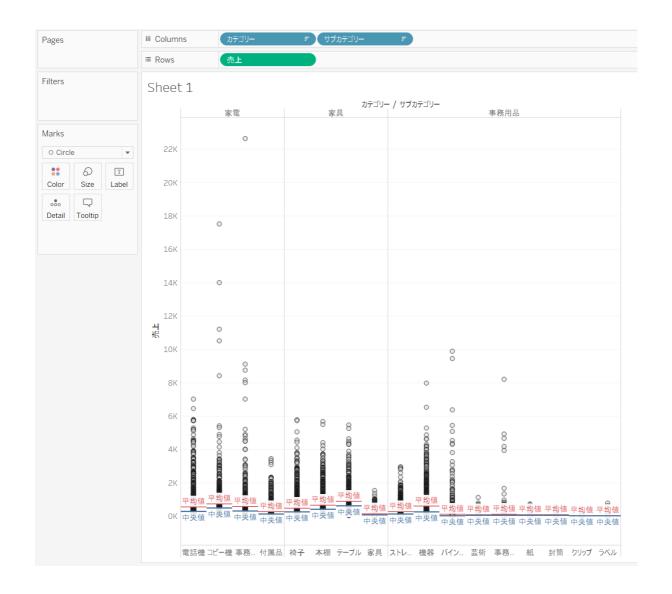
#### ■平均値と中央値

中央値は、平均値に比べて外れ値(データが密集しているところから離れている 値)に影響されにくい集計結果が得られる。

集計方法を中央値もしくは平均値を使用するかは

- 自分の見たいもの
- 相手に見せたいもの

に応じて判断する。



## まとめ

データを理解する集計には

- データの粒度
- 計算方法
- ストーリーテリング

が必要。

データの粒度と計算方法次第で様々な角度でデータを把握することができる。

また、データを通じて伝えたいものに応じて、データの粒度と計算方法を適切に選んでいくことが重要。

## データの粒度×計算方法

粒度の範囲を理解し、適切な計算方法を選ぶことで 私たちは様々な角度でデータを俯瞰することができる



## データを理解する集計の力

データの粒度 × ストーリーテリング

> × 計算方法